

Access 電車 西武池袋線「大泉学園」駅下車 徒歩8分
バス停 ○学芸大附属前)下車
・吉祥寺駅(武蔵関線)より「新座栄」行「大泉学園駅南口」行
・西荻窪駅(上石神井線)より「大泉学園駅南口」行
・上石神井駅より「長久保」行
・阿佐ヶ谷駅より「長久保」行

2023年度 入学選抜検査について
Table with columns for '入試の種類', '第一学年 4月入学選抜検査', and '編入学選抜検査'. It lists details for A and B methods, including applicant numbers, exam subjects, and dates.

Educational objectives

TGUISSの目指す教育

- 1 世界に生きる学力と教養を身につけよう。
The school will help students to acquire global knowledge.
- 2 多様な表現力やコミュニケーション能力を育もう。
The school will help students to strengthen communication skills.
- 3 知・心・身体のパランスを大切に成長し続けよう。
The school will help students to mature in knowledge, mind and body.
- 4 多様性の意義を認識するとともに、寛容性・耐性(トランス)を育もう。
The school will help students to appreciate diversity and foster acceptance, empathy, tolerance and respect.

Ability to grow

育てたい資質能力

ISSでは様々な教育活動を通じて以下の4つの資質を持った生徒を育てます。

- 1 現代的な課題を読み解く力
- 2 対話を通じて人との関係性を作り出す力
- 3 知識とイメージを自分で再構築する力
- 4 異文化への寛容性・耐性

探究的・主体的な学習

本校は1年生から4年生まで、全ての生徒が国際バカロレア (IB) の Middle Years Programmeのカリキュラムに則り学習活動を行っているため、生徒が主役となり、自ら調べ、考え、話し合い、自らの理解や意見を導き出す授業がほとんどです。また、後期課程では全ての生徒が課題研究の時間を活用し、授業と課外活動を通して関心を持ったテーマについて、自ら理解を深め、研究し、最終的には自らの研究成果を外部へ発信します。

多様で充実した英語の授業

前期課程では英語の授業が週4時間、英語「で」様々な現代課題について学ぶLEの時間が週2時間あります。後期課程では、週最大8時間の英語の授業に加え、第2外国語や英語以外の科目のイマージョンの授業など、選択肢は様々です。

進路に応じた幅広い選択肢

後期課程ではそれぞれの進路に合わせて授業を組み合わせたことが可能です。4~5年生で理科の基礎科目全てを履修できます。また、英語資格試験対策・海外進学準備・小論文対策など、それぞれのニーズに合わせて選択肢ができます。

特色ある教育活動



世界で生きる。世界で生かす。

TGUISS

Tokyo Gakugei University International Secondary School



課題に向き合い問題解決のできる力を育もう

本校は2007年創立の若さあふれる男女共学の中等教育学校です。「グローバルな視野の育成」「多文化共生の教育」「多様性と共通の価値・ルールの確立」「社会参加を通した市民性の育成」などを教育理念とし、中高6年間の一貫したカリキュラムを実施しています。また本校は、国際バカロレアワールドスクール、スーパーサイエンスハイスクール、ユネスコスクールなどの「顔」もあります。本校の教育は、これらのリソースを効果的に組み合わせ、世界で生き、世界に貢献できる次世代のリーダーを育てています。今までに経験したこともない課題が次々と国境を越えて発現する現代社会にあって、課題の本質を見極め、しっかりと問題解決のできる子供たちを育てたい。それが本校の使命です。

生徒人数 ▶ 約720人

帰国生の割合 ▶ 約40%

学年・クラスの数 ▶ 学年約120人 (1クラス約30名)

帰国生が来る国と地域の数 ▶ 50以上

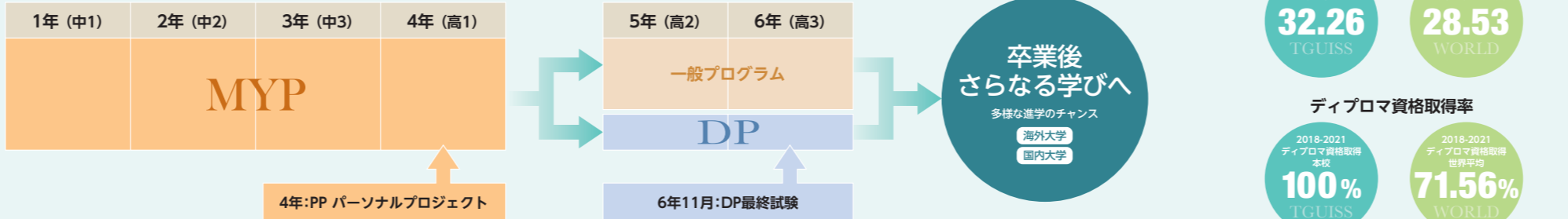
IB World School 国公立学校初のIB認定校



IBのMYP(中等教育プログラム)とDP(ディプロマプログラム)の認定校。中等教育学校として6年一貫教育を実践

IB(International Baccalaureate 国際バカロレア)とは？

国際バカロレア機構(IBC)が提供する国際的な教育プログラム。世界の複雑さを理解し、そのことに対処できる力、そして未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けた生徒の育成を目的としています。



MYP (Middle Years Programme)

1~4年の4年間 全生徒が対象

8つの教科群

- 言語と文学(国語) ●言語の習得(外国語) ●個人と社会(社会/地理歴史・公民) ●理科(理科)
- 数学(数学) ●芸術(音楽・美術/芸術) ●保健体育(保健体育) ●デザイン(技術・家庭/情報)

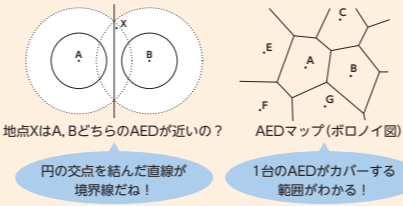
Social Action活動の例



MYPのカリキュラムの一領域である社会貢献活動を本校では「Social Action」と称し、生徒の積極的な行動を促しています。生徒は地域・環境・難病など、様々な社会課題に関わる NPO・NGO・ボランティア団体のイベントにスタッフボランティアとして参加したり、自分たちでボランティア活動を企画したりすることで、自分たち自身も学びながら多くの活動を支援しています。

MYPのユニット例

【数学の単元】2年生:図形領域(垂直二等分線の作図)
 <探究テーマ> AEDで救える命を増やそう
 AEDは何m間隔で設置すればよいでしょうか。また、どのAEDを取りに行くときがわかる「AEDマップ」をつくりましょう。



【主な活動内容】

- 「3分以内に取って戻ってくる」という条件を設定し、AEDの適切な設置間隔を決める。
- 身近な地域のAEDが300m間隔で設置されているかを、地図上に円を描く方法を見いだして考察する。
- 住人の年齢構成などのデータを読み取りAEDが必要な場所の条件を考える。
- どのAEDを取りに行くときがわかる「AEDマップ」(ボロノイ図)をつくる。

教科内容と実社会との関連性を重視

実社会の問題を数学的に解決したり判断したりする力の育成を目指す授業



DP (Diploma Programme)

5~6年の2年間 各学年約15名

6教科7科目 3科目を英語で、3科目を日本語で学びます。

- 言語と文学【日本語A:文学HL】【English A: Language and literature HL】
- 言語の習得【English B HL】 ●個人と社会【歴史HL】 ●理科【化学SL】
- 数学【Mathematics: Applications and Interpretation SL】 ●芸術【Visual arts SL】

HL=Higher level 上級レベル
 SL=Standard level 標準レベル

※【English A: Language and literature HL】と【English B HL】はどちらかの選択になります。
 ※文系に特化したコースです。

3つのコア

TOK (Theory of knowledge) 知の理論

EE (Extended essay) 課題論文

CAS (Creativity, activity and service) 創造性・活動・奉仕

少人数でチャレンジに満ちた専門性の高い学習を行い、IBディプロマ資格を取得します。

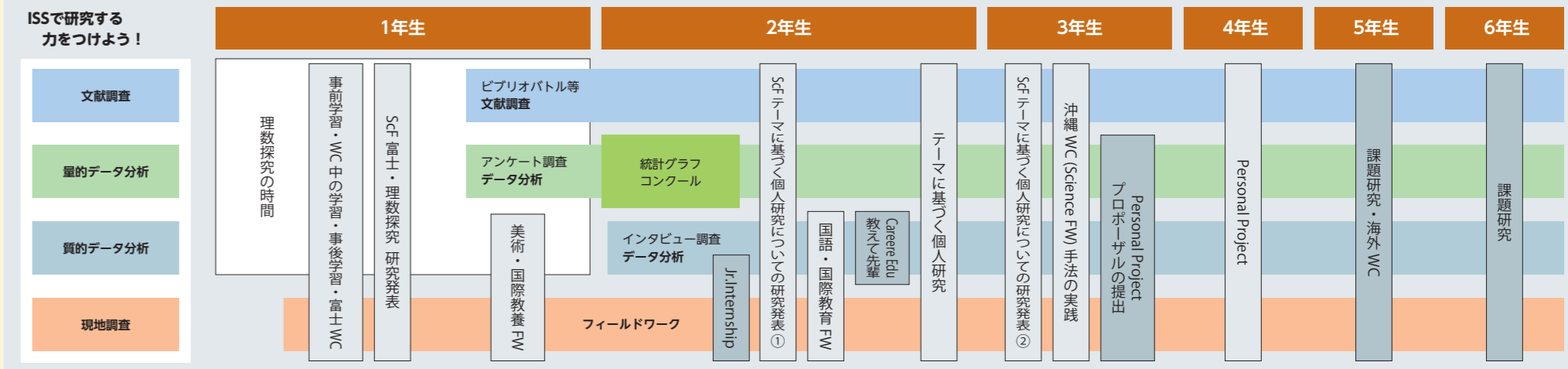
探究活動が自らできる生徒を育成するシステム



生徒自らが研究を行えるようになるために必要な能力。それを身につけるための環境をご用意しております。

Input 【国際教養】視野を広げ、実践力を身につける！
 「国際教養」とは、国際社会の中で共生・共存できる力を育成するために設定された本校独自の学習領域であり、6年間を通じて、各教科の枠を超えた現代的課題を多様な観点から学び、プレゼンテーションやディスカッション運営などのスキルを磨きます。外部の方をお招きして講演会を開催したり、生徒自ら主体的なワークショップを企画、運営したりしながら、視野を広げ、実践力を身につけることができます。

※例年の流れです。変更になる場合があります。



理数探究

1年生の1年間をかけて、興味のあるギモンをとことん探究します。一人ひとりが受け身ではなく、高い意識を持って積極的に考え、行動することが求められます。「探究」の過程を一通り経験することができます。

PP(パーソナルプロジェクト)

パーソナル・プロジェクトは、4年生に取り組むMYPの集大成のプロジェクトです。生徒は、自分で選んだ創造的で革新的なゴールを達成するために、これまで様々な教科で学んだ知見やスキルを活用し、最後に下級生に向けてその内容を発表します。プロジェクト例:「絵本で解決!〜子供の貧困問題〜」「アボカドの種と変色の関係性」

課題研究

自ら研究課題を見だし、適切な研究方法を実践し、自分自身による考察を通して新たな知見を得て、それを他者と共有することで課題解決に貢献します。後期課程の約2年をかけて研究を進めます。研究例:「スタートアップで考えるe-sportsへの取り組み」「アントシアニン分解能力を持つ腸内細菌の探索」

WC(ワークキャンプ)

1年生は富士山周辺で、3年生は沖縄で、5年生はカナダのバンクーバーで宿泊行事(ワークキャンプ)を行います。

FW(フィールドワーク)

各教科の特別学習として、教室の外で、実際に目で見て体験することを目的にフィールドワークに出かけます。

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の取り組み

2014年度より文部科学省からSSH校に指定され、「学びの本質」を捉え、SOCIAL CHANGEをもたらす科学技術人材の育成をテーマとした研究開発に取り組んでいます。IB教育の実践を踏まえ、実社会の課題解決に目を向け、科学的なアプローチでその第一歩を踏み出す視点を生み出すために、探究的な学びや活動を実践しています。

Output 【ISSチャレンジ】身につけたスキルを最終的に生徒自身が成果・結果として発揮！

個人やグループによる独自の研究活動の奨励を目的とした、校内での課題研究コンテストです。全生徒が任意で参加でき、1年間かけて取り組みます。毎年、ユニークな研究がたくさん行われています。

ISS年間予定	4月	オリエンテーション	5月	研究計画提出	9月	スクールフェスティバルでポスター展示
	10月	研究経過報告	1月	研究論文提出	2月	審査および発表会

SGH(スーパーグローバルハイスクール)の取り組みからWWL(ワールドワイドラーニングコンソーシアム)へ

2015年度より2019年度までの5年間、SGHに指定され「組織力」「対話力」「実行力」をキーワードとして社会課題に対する解決力やコミュニケーション能力の育成に取り組まれました。生徒の学びは多様な形で社会に発信することにつながっています。現在はWWLの連携校として継続的に探究的な学びや活動に取り組んでいます。